

就学援助『中学校入学準備金』の支給が、  
入学前3月に改善されます

交野市は、経済的に大変な家庭の小中学生が利用する就学援助の一つ、入学準備金（新入学用品費）の支給について、中学校就学予定者対象で、小学校6年生の3月に支給することを決め、9月議会で提案します。

『入学準備金』については、これまでの入学後の8月の支給を、「用品を購入する入学前に早めて欲しい」とする利用者の声が多くありました。

全国でも、子どもの貧困対策として、入学前の支給に踏み切る自治体が増えています。

文部科学省は今年3月、入学準備金について、「援助を必要としている時期に速やかな支給」が行えるように交付要綱を改正し、交付対象の「就学予定者」として、中学校のみならず小学校入学前も可能だとする通知を都道府県の教育委員会に送っています。

さらに、小学校入学前の支給についても、皆さんと要望していきたいと思っています。



9月議会の補正予算で提案されている主な事業について

事業名	金額（円）	事業内容
青年の家展示室整備事業	180万円	絵画展示室の修繕等
地域公共交通調査検討事業	688万6千円 ・市民アンケートなど調査業委託費（650万円） ・検討委員の報酬（38万6千円）	・市内公共交通のあり方について、検討委員会設置。 ・検討をすすめるための調査（市民アンケート・地域の状況・バス利用状況など）の業務委託
就学援助「中学入学準備金」	478万8千円	入学前支給へと改善 対象予定数 101人
森新池試掘調査	562万3千円	あまだのみや幼児園移転候補の森新池の遺跡調査
総合体育館駐車場の整備工事	544万7千円	33台分を増設

「交野市立幼児園民営化基本方針(案)」パブリックコメント 9月1日～10月1日まで

民営化は子育て支援に逆行!!

市は、「交野市立幼児園民営化基本方針(案)」として、あまだのみや幼児園を民営化する方針をまとめ、パブリックコメント（市民の意見募集）を実施します。

市の基本方針(案)では、市長戦略で掲げた「公立幼児園の1園民営化」の具体化として、あまだのみや幼児園を民営化し、森新池を埋め立てて民営化園を建設するとしています。

市内に3つしかない公立の幼児園(認定こども園)は、

障がい児の保育やアレルギー対応の自園給食、児童虐待など子育て困難家庭への支援など、子育て支援に重要な役割を果たしています。

保育を必要とするすべての子どもに安心・安全の保育を保障することは、国と自治体の責任であり、民営化は子

育て支援に逆行します。  
コスト削減のために民営化をすすめるのではなく、公立も私立も、保育環境をさらに充実させ、若い世代が住みたいと思える子育て支援の充実、魅力あるまちづくりが求められています。



- 意見募集期間 9月1日(金)～10月1日(日)まで  
※郵送は期間内の消印有効
- 意見提出方法：書面持参、郵送、ファックス、メール
- 提出方法：意見書（様式自由）に、住所・名前を記入し提出。
- 意見の提出先
- ①交野市健やか部こども園課  
〒576-0034 交野市天野ヶ原町5-5-1  
(ゆうゆうセンター内)  
ファックス 072-892-0525  
Eメール [kodomoen@city.katano.osaka.jp](mailto:kodomoen@city.katano.osaka.jp)
- ②各市立認定こども園（幼児園）
- 基本方針（案）の公表場所：市ホームページ、情報公開コーナー、こども園課、各市立認定こども園（幼児園）

★保護者の声から★

- ・娘は障がいがあり、2つの私立幼稚園で入園を断られました。公立がなかったら障がい児はどうなるの？
- ・シングルマザーで経済的に余裕がありません。私立になると制服代や教材費なども高いので不安です。
- ・私立幼稚園の面接で、子どもが名前を言えず落とされました。私立園は園の方針で仕方ないと思うが、安心して通える公立がないと困ります。
- ・あまだのみや幼児園は自然が豊かで、散歩や地域とのつながりも多く、のびのびした保育が好きなので、なくさないでほしい。

